

# 法と教育学会

～法教育のミニマム・エッセンシャルズを問う～

## 法と教育学会 設立総会・第一回学術大会

2010年9月5日(日) 10:30～17:30 設立総会・シンポジウム 17:30～レセプション

明治大学リバティタワー (東京都千代田区神田駿河台1-1)

■JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩3分 ■東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩5分

■都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩5分

### 【 プログラム 】

10:30～11:00 設立総会 (リバティホール)

— 休憩(10分間) —

11:10～13:10 分科会 (リバティタワー9階)

第一分科会(幼・小) 1093 教室

第二分科会(中・高) 1094 教室

第三分科会(高・大) 1096 教室

— 昼休憩(80分間) —

13:20～14:30 理事会 (研究棟4階会議室)

14:30～15:30 基調講演 (リバティホール)

法教育からみた利益考量論

大村敦志(東京大学法学部教授)

— 休憩(10分間) —

15:40～17:30 シンポジウム(リバティホール)

法教育のミニマム・エッセンシャルズを問う

<司会>

- 鈴木啓文(弁護士)
- 橋本康弘(福井大学教育地域科学部准教授)

<パネリスト>

- 大杉昭英(岐阜大学教育学部教授)
- 土井真一(京都大学公共政策大学院教授)
- 根本信義(筑波大学大学院人文社会科学部教授・弁護士)
- 吉田俊弘(筑波大学附属駒場中・高等学校教諭)

17:30～ 懇親レセプション(大学会館3F 会議室)

(会費制:5,000円)

# 法と教育学会 第1回学術大会プログラム

《参加者等、一部変更になる可能性があります。》

\* 各分科会とも、最後に質疑応答の時間を30分設けています。

## 第一分科会 幼稚園・小学校

【リビティタワー9階 1093教室 司会者：村松 剛（弁護士）】

- ① 研究発表：子どもの「公正」概念の発達論にもとづく立憲主義道徳学習  
—米国キャラクター・エデュケーション教材を手がかりに—  
〔報告者：中原朋生（川崎医療短期大学准教授）〕

本発表では、幼児期から児童期の子どもの「公正」概念の発達論にもとづき開発された米国キャラクター・エデュケーション教材の単元「公正」の分析をとおして、憲法の理念を基盤に子どもの市民性育成をめざす立憲主義道徳学習について検討していく。

- ② 研究発表：小学生の発達段階を考慮した法教育  
〔報告者：後藤直樹（弁護士）〕  
小学生を対象とした法教育においては、大人向けの教材をわかりやすくするだけでは十分ではなく、小学生の発達段階を考慮する必要がある。小学生を対象とする法教育を実施する際に留意すべき事項について考察してみたい。

- ③ 実践研究発表：小学校第6学年社会科で行う法教育 ～国民の司法参加を取り上げた実践～  
〔報告者：窪 直樹（練馬区立大泉第六小学校教諭）〕  
政治の働きと自分たちとのかかわりについての学習を積み重ねた子供たちが、裁判員制度について調べ、国民の司法参加について自分の意見をもった過程を報告し、実践可能な小学校社会科における法教育の一例を示したい。

## 第二分科会 中学校・高等学校

【リビティタワー9階 1094教室 司会者：磯山恭子（静岡大学教育学部准教授）】

- ① 研究発表：アメリカに見る法廷での法教育  
〔報告者：神谷説子（ジャパントイムズ編集局報道部記者）〕  
アメリカの法教育に欠かせないのが模擬裁判。裁判所の法廷にて、中高生に当事者や陪審員として考える機会が提供されている。5月にペンシルバニア州で行われた模擬法廷授業と全米高校生模擬裁判大会を報告する。

- ② 研究発表：高等学校における法教育の展開  
〔報告者：渥美利文（東京都立小岩高等学校教諭）〕  
高校では「法教育」はどのように展開され、生徒はそこから何を学ぶのか。報告者が所属する「東京都高等学校法教育研究会」のカリキュラム構想と、報告者の授業実践を手がかりに、高校の法教育のあり方を考察する。

- ③ 実践研究発表：法的な見方・考え方を身につける授業づくりをめざして…  
〔報告者：古家正暢（東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭）〕  
教育学部の学生とともに、中高生を対象とした「法教育」の授業づくりに挑戦しました。法は誰のためにあるのか？ 私たちも無意識のうちに罪をおかしてはいないか？ そもそもルールを決める方法自体を問題にすべきではないか？

## 第三分科会 高等学校・大学

【リビティタワー9階 1096教室 司会者：渡部竜也（東京学芸大学教育学部講師）】

- ① 実践研究発表：「ぶどう園の労働者」を考える  
〔報告者：河村新吾（広島市立基町高等学校教諭）〕  
ルールづくりに焦点化し、原則（対等な立場）の契約ではなく、例外（対等でない立場）の労働契約を取り上げる。高校生が、労働法の構造を学び、法に関する基本的な見方や考え方を修得していく方法を検討したい。

- ② 研究発表：シェークスピアで模擬裁判 ～カナダにおける『法と文学』  
〔報告者：山下純司（学習院大学法学部教授）〕  
カナダのマギル大学で行われている模擬裁判の授業では、学生たちが、シェークスピアのテキストを法律に見立てて、原告と被告に分かれて議論を展開する。このユニークなプロジェクトに取材し、法教育への応用可能性を考える。

11:10

11:30

11:50

12:40

13:10

分科会	司会	報告者		休憩 10分	質疑応答
幼稚園 小学校	村松 剛	研究発表	実践研究発表		
中学校 高等学校	磯山恭子	中原朋生 (川崎医療短期大学)	後藤直樹 (弁護士)	窪 直樹 (練馬区立大泉第六小学校)	質疑応答
		神谷説子 (ジャパントイムズ)	渥美利文 (東京都立小岩高等学校)		
高等学校 大学	渡部竜也	実践研究発表		研究発表	質疑応答
		河村新吾 (広島市立基町高等学校)		山下純司 (学習院大学)	

# 基調講演・シンポジウム

## ◆基調講演 (リバティホール) 法教育からみた利益考量論

大村敦志 (東京大学法学部教授)

### 【趣旨】

専門家ではない一般の人々が法について関心を持ち、法を身近なものと感じる。そのために必要なことは何か。日本の法学、特に民法学は、1920年代から今日に至るまで、この課題に取り組んできたと言える。1960年代後半以降に有力になった「利益考量論」はそのような努力の最大の成果の一つであると言える。本講演では、法教育の観点から利益考量論を見直し、その今日的意義を明らかにする。

— 休憩(10分間) —

## ◆シンポジウム ～ 法教育のミニマム・エッセンシャルズを問う ～

司会： 鈴木啓文 (弁護士)

橋本康弘 (福井大学教育地域科学部准教授)

### 【趣旨】

法を、国民一人ひとりに、社会全体に行き渡らせる「法教育」が必要であるのか、必要であるとして、そこにおいて語るべき「法」とはなにか、一人ひとりに何を伝え、一人ひとりは何を獲得していくのか。そして、その教育の方法はどうあるべきなのか。まだまだ動き始めたばかりの「法教育」に盛り込む内容、やりかたは立場により人により違っている。しかし、伝えられる立場である国民にとっての意味を根本で考慮し、様々な差異をふまえつつ、最低限共通に認識できる場所はどこなのかを模索する。

## 第1部 報告

15:40～15:55

テーマ「憲法の基礎概念・基本的価値の教育」  
土井真一 (京都大学公共政策大学院教授)

15:55～16:10

テーマ「こどもの何を、どのように成長させるのか」  
大杉昭英 (岐阜大学教育学部教授)

16:10～16:25

テーマ「法教育で、授業はどう変わるのか—教育現場の実践から考える」  
吉田俊弘 (筑波大学附属駒場中・高等学校教諭)

16:25～16:40

テーマ「法に対する認識を変化させる教育—客体から主体へ」  
根本信義 (筑波大学大学院人文社会科学部研究科教授・弁護士)

16:40～16:50

休憩 -- 質問票回収 --

## 第2部 パネルディスカッション

16:50～17:30

パネリスト：

大杉昭英 (岐阜大学教育学部教授)

土井真一 (京都大学公共政策大学院教授)

根本信義 (筑波大学大学院人文社会科学部研究科教授・弁護士)

吉田俊弘 (筑波大学附属駒場中・高等学校教諭)

FAX: 03-5643-7186

事務局使用欄	
/	No.

## 法と教育学会入会申込書

以下のとおり、入会を申し込みます。

年 月 日

フリガナ		
氏名		
性別	男・女 (いずれかに○をおつけ下さい)	
生年月日	19 年 月 日	
現住所	〒 -	会員名簿に 掲載する・しない  いずれかに○をおつけ下さい。 以下、同じ
自宅 TEL	( )	掲載する・しない
自宅 FAX	( )	掲載する・しない
所属・身分		
所属先住所	〒 -	掲載する・しない
所属先 TEL	( )	掲載する・しない
所属先 FAX	( )	掲載する・しない
E-mail		掲載する・しない
専門分野		
会員種別	正会員・賛助会員 (いずれかに○をおつけ下さい)	正会員：5,000円 賛助会員：一口10,000円
連絡先	自宅・所属先 (いずれかに○をおつけ下さい)	

9月5日 設立総会に レセプションに	新規入会申込 参加する	・ 参加しない	申込済 参加しない	・ 参加しない
-----------------------	----------------	------------	--------------	------------